

こんにちは

日本共産党
県議会活動報告
週刊ニュース

2016年7月24日 (NO. 892)



きらとみひこ

吉良富彦 です

事務所

吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

ビキニ水爆被災船員 健康等相談会

議会で取り上げ2年 労災申請や国賠請求も

●1954年3月1日、ビキニ環礁で米国が行った水爆実験による高知県

内の被災船員や遺族が、62年目となった今年、船員保険労災適用を求め、また、国が適切な処置を怠ったとして、国家賠償を求める訴え



も起こしました。議会で、県として元漁船員の調査を行うことを求め、2年目の夏です。

昨年は室戸市、そして土

佐清水市で県の相談会が行われ、この7月17日には高知市でビキニ水爆被災船員への県健康影響相談会がもたれました。星正治広島大学名誉教授、田中公夫前環境科学技術研究所

医学博士、鎌田七男広島原爆被災者援護事業団理事長各氏の放射線被曝に関するお話には35名が参加。相談には、宇佐の被災船員など5組の皆さんが参加し、当時の漁船での様子やご自身の体の具合、子や孫への影響などについて相談が行われました。

黒潮町の主催で 被災船員等25名

●翌18日には、黒潮町の主催した健康相談会には25名参加。第5明賀丸の乗組員

だったMさんは米軍機が操業船の周りを3回旋回し通信筒を落とした。そこには七ヶ国語で貴船

は危険水域にある、本機の方



向に従い逃げるように、など、初めて聞く証言もなされました。
●来週の日曜日、7月31日の午後1時から4時まで、高知大学朝倉キャンパス共通教育1号館2階127室で、山下正寿太平洋核被災支援センター事務局長がこの間の経過や厚労省被ばく量報告等に関して講演をします。(高知における平和学プロジェクト主催) ぜひとも、ご参加ください。

黒潮町でのビキニ水爆被災船員相談会の視察にJRで土佐入野駅へ。高知駅ホームの売店で売っていた「とさべん」

キラリンにやんでも通信

味しかったですよ。

案じてきた駅弁、美味しかったですよ。

ウンの子ども達が考

つき購入。土佐っ子タ

という駅弁が目

に

相談会の視察にJR

で土佐入野駅へ。高知

駅ホームの売店で売

っていた「とさべん」



●駅弁「とさべん」

無料法律・生活相談

- 8月18日(木)午後6時～8時
 - 皿田幸憲弁護士(高知法律事務所)
 - 場所 愛宕商店街吉良事務所
- 問合せ：088-855-9439
※毎月第2木曜日/お気軽にご利用下さい